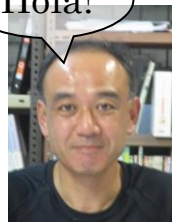


パナマ新聞

2016年 8月号

パナマ日本人学校
あさだ まさはる

Hola!



白山小学校のみなさん、おげんきですか。夏やすみはたのしくすごせましたか。白山小の夏といえば、にいがたまつりですね。すみよしぎょうれつやぼんだいだいこ！ことしもだいかつやくで、もりあげてくれたこととおもいます。パナマには、日本のようななつまつりは、ありません（ざんねん！）

こんかいは、校庭のしょくぶつをしょうかいします。白山小学校にもかがやきの森がありますが、パナマ日本人学校にもたくさんのお木や草があります。でも、ねったいなので白山小とはぜんぜんちがうものばかりです。

1 マンゴーの木

パナマ日本人学校のお木といえば、マンゴーです。30年ほど前の先生がたべたマンゴーのたねからめがでて、今では大木になりました。

7月くらいがたべごろで、日本のカキとおなじようなかんじで、まいとし、たくさんとれます。リスがたべにくるので、おいはらっています。



2 バナナ（ギネオ）（フラタノ）



スペイン語では、バナナのことを「ギネオ」といいます。学校のあちこちに10ぽんくらいうえられています。バナナは、草なのでトウモロコシやトマトのように実をしょうかくしたら、またあたらしいなえをかってきてうえます。こちらでは、生でたべるだけでなく、やいたり、あげたりしてたべます。おべんとうやさんでは、「ごはんにする？いもにする？バナナにする？」と主食（しゅしょく）をどれにするか聞かれるほど、ポピュラーなたべものです。ちなみに、りょうりょうのバナナは「フラタノ」とよびかたがかわります。

3 アーモンドの木

学校に、アーモンドの木があるときいて、びっくりしました。アーモンドチョコレートでとても有名だからです。どんな実ができるのか、すごくたのしみになっていたところ、8月くらいに実ができていました。それがみぎのしゃしんです。

たべられるのか、パナマ人のスタッフさんにきいてみたところ、「ノ、アルティージャ！（いいえ、リスのイサですね！）」といわれました。（アルティージャはスペイン語でリスです）食べられるとおもっていたので、とてもざんねんでした。

